

おまけトラック

ケーキってお尻のスラングって知ってた？　じゃあライスケーキは……
百足が餅をめちやくちやスパンキングするシチュエーション
ヒロインは餅。

SE:近づいてくる足音

SE:金属製の鍋（蒸し器）の蓋を開ける

【9　蒸し器の中で蒸し終えたヒロインを見下ろしている】

百足「ああ、やっと蒸し上がったか。

ずいぶん強情だったけど……ふふ、熱々だ。

こんなに湯気をたてて、そんなに俺のことが待ち遠しかった？」

【1　顔を近づけ】

百足【湯気を鼻で吸い込んで】……うん、いい匂い。

たっぷり水分を溜め込んで、それでいて粒が立っている。

白くて、つやつやで……はは、恥ずかしがらなくてもいいのに。

これなら、大丈夫そうだ。

ほら、行くよ【蒸し布に包まれた餅米を持ち上げ、近くの臼に移す】

SE:衣擦れ

SE:餅米が石臼にどさつと落ちる

【1→9】

百足「痛い？　そうだね、そのもち臼は石で出来てるから。

【杵を取るために離れる】大丈夫、すぐに良くなってくる」

【百足、そばに置いてあった杵を持ち上げる】

SE:ゴトツ（杵を持ち上げる音）

【6】

百足「ほら、よく見て。
今からこの、大きくて立派な杵で、
思いっきりついて、従順でかわいい、やわらかいお餅にしてあげるから、
ねっ【杵を振り下ろす】」

SE:ドッ (餅をつく重い音)

【テンションが上がってくる】

百足「はは、すごい音だ。
重たかったね、びっくりしたよね。
でも、君が悪いんだよ。
君が、そんなに物欲しそうに、湯気をたてるから……っ【二発目】」

SE:ドッ (餅をつく重い音)

百足【命令調】はあ…っ、ひっくり返るのは、自分でやるんだ。
さあ、ほら」

【餅ヒロイン、がんばって自分でひっくり返る】

SE:べたん みたいな音

百足「よくできました。
俺が一度ついたら、その度に自分でひっくり返るんだよ。
できるよね？ うん。いい子」

百足「それじゃあ、一気に行くよ。
そーれっ」

【ここから十回くらい餅つきの息をお願いします】

SE:←百足が餅をつくごとに (餅をつく重い音) とヒロインのひっくり返る。ちゃんの繰り返し

【9 疲れから息が上がっている】

百足「はあ、はあ……すごい、もう、もちもちだ……
ちよつと強く突きすぎたかな？」

【百足、餅ヒロインを指でつまむ】

SE:ネチ……

【1 満足げに】

百足「ふふ、すごい粘り気……

急いで食べたなら、喉に詰まっちゃうな……気をつけないと。

まずはお醤油で食べて……次は、大根おろし……

もちろん、あとでお雑煮やぜんざいにもする」

【3 耳元】

百足「俺のお腹、いーっぱいにして、ね♡」

SE:出来上がった餅ヒロインを戯れに叩く。ちん

1 作中作『マジカルプリズナー☆カイ』のあらすじ

2
3 【ダミへのまま1の位置でOKです】

4
5 西暦3000年、日本は超犯罪国家と化していた。

6 もはや司法は機能しておらず、なんとなくて逮捕、収監される人々。

7 主人公のカイも、適当な操作によって冤罪を着せられ監獄都市で終身刑となった。

8 しかし牢獄の中でカイは、一匹の妖精に出会う。

9 妖精は言った。

10 彼と契約し、シャバをうろつく魔物を百匹倒せば、新しい戸籍と恵まれた人生用意すると。

11 選択肢はない。

12 カイは妖精のマジカル警棒を掴み、魔法囚人として生きることを決めた。

13 マジカルプリズナー☆カイ 続報を待て！